

学園だより

発行
社会福祉法人可茂会
障がい者支援施設
可茂学園
〒509-0213 可茂市瀬田1648-9
TEL 0574-64-3366
平成29年8月3日 第31号



三ツ池
第2ホーム

選ばれること、必要とされること

園長 日比野 邦彦

平成二十九年三月、念願でありましたグループホーム「三ツ池第二ホーム」を既設の三ツ池ホームの南隣に新築整備いたしました。平成二十四年八月に可児市ではじめての知的障がい者のグループホーム「三ツ池ホーム」を新築整備して以来、当法人「可茂会」にとっては二棟目の共同生活援助事業所となります。振り返ってみれば、このホームは具体的な事業計画から二年あまりで完成することができました。極めてスムーズに事業が実施できましたのも、公益財団法人JKA様の多大なるご支援と地元可児市をはじめ、地域住民の皆様のこの事業に対する温かいご理解・ご協力のお陰です。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。今後も、利用される皆さんの意思決定を大切にしながら、ご本人の願いや自己実現のお手伝いをしていくなかで、スタッフが丸となって福祉施設としての責務を果たしていきたいと思います。

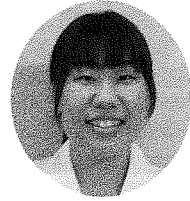
さて、昨年は社会福祉法の改正があり、その対応に追われました。昭和二十六年社会福祉法制定以来六十五年ぶりの大幅な改正であり、社会福祉法人の改革がその主な内容です。法人組織のガバナンスの強化、財務規律の強化、地域の公益的な取り組みを実施する責務などいくつか挙げられますが、この改正の意味していることは時代や社会の変化に対応した適切な福祉サービスの提供はもちろん、従来にも増して福祉サービスの先駆的取り組みやより一層の地域貢献が求められているということだと感じています。また、二〇一四年の障害者の権利に関する条約の批准、虐待防止法や差別解消法の施行、そして今回の社会福祉法の改正と、社会福祉法人を取り巻く環境は常に変化しその対応が求められています。

今回の法人改革はその変化に対応するための制度であり、現在提供しているサービスの内容について、再確認や新たな実践の機会としなければと思います。そのためには働くスタッフにも目を向けなければなりません。スタッフが気持ちよく働くことができる職場環境は利用者により良いサービスを提供するための前提条件からです。福祉的課題の解決は一朝一夕にできるものではなく、目の前にある課題一つずつ着実にカタチにしていくことでしかそれを解決することはできません。

私たち一人一人が施設の果たす役割について考え、自主的な行動をとることが求められます。利用者視点での施設の魅力や職員が働くうえで仕事の魅力の一つでも増やしそれをアピールすることも大切です。今後も利用者にも働く職員にも選ばれる施設、家族や地域から必要とされる施設であり続けたいと願っています。

新しく迎えた職員

お世話になっております



管理栄養士

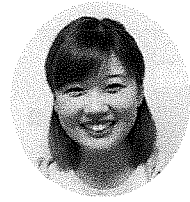
奥村 志保

可茂学園で勤めるようになり、早八ヶ月が経ちました。当初は不安もありましたが、皆様に温かく迎え入れていただき、日々楽しく働いています。本当にありがとうございます。

さて、まだまだ暑い日が続いているため、栄養士らしく、夏に万能な野菜「トマト」について紹介したいと思います。トマトには疲労回復効果のあるクエン酸が豊富で、水分も多く夏バテ予防に最適です。またご存知リコピンには抗酸化作用、美白効果など様々な効果が期待できます。生食やジュースは勿論、加熱調理にも適している為、学園の食事にも積極的に取り入れています。これからも旬の食材を使用しおいしい食事を提供していけるよう努めたいと思います。



三ヶ月経ちました！



山口祐実奈

四月から可茂学園で働かせて頂いている山口祐実奈です。可茂学園に来て早くも三ヶ月が経ちました。まだまだ未熟者で迷惑をおかけしてしまうことも有り、不安なこともたくさんありますが、利用者の方々と過ごす毎日が楽しいと感じております。

私は三月まで岐阜聖徳学園大学に通い、主に幼児教育を学んでいました。在学中に可茂学園で二回実習をさせて頂きました。実習する中で、利用者の方々と過ごす時間がとても楽しくとても充実しており、また職員の方々の丁寧で優しいご指導を受け、ここ可茂学園で働きたい！と強く思いました。今、こうして可茂学園で利用者の方と接する事が出来、とても嬉しいのです。

まだ不慣れな点ばかりですが、利用者の方の力になれるよう毎日笑顔で頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

寄り添える支援員を目指したい



山本 直実

今年度からお世話になります山本直実と申します。私は幼児教育について学んできたため、障害者支援について知識が足りず、満足のいく支援を行う事ができるか大変不安でした。しかし、多くの皆様に支えられながら少しずつ学園の生活に慣れ支援について考えられるようになりました。保護者の皆様にもご迷惑をお掛けすることがあると思いますが、皆様の言葉を受け止め、より良い支援とは何かを考えられる支援員になりたいと考えています。まだまだ未熟な面も多く満足のいく支援を行うことは困難ですが、その方に合った支援を考え、先輩方に相談し日々成長する事を目標にしていきたいと思っております。そして利用者の皆様が安全に生活できる事を第一に考え支援を行いたいのです。これから長いお付き合いをさせていただく事になると思いますが、責任を持ち仕事に励んでいきたいです。改めてよろしくお願い致します。

初めまして



井戸 駿介

七月から可茂学園で生活支援員として働かせてもらうことになりました。初めての仕事ばかりで、利用者の方や職員の先輩方に迷惑をかけてしまっていますが、まずは皆さんの顔と名前からしっかりと覚えて支援員として自立していけるように頑張っていきます。

利用者の方達からたくさん声を掛けて頂いて、毎日楽しく過ごせています。利用者の方にも楽しんでもらえるように色々工夫しながら仕事していきたいと思っております。

早く仕事を覚えてみんなから頼って貰えるように頑張りますので、ご指導のほど宜しくお願い致します。



より良い支援をめざして



小島みどり

今年度より、可茂学園でパート職員として働くことになりました小島と申します。二年間ほど瀬戸市にある支援施設で支援員として働いておりました。その前は介護職員として老人施設で勤務しておりましたが、手首の怪我、また再発を繰り返して、介護職を断念せざるを得なくなりました。しかし福祉の世界から退くことを考える事が出来ず、まだ経験した事の無い支援の道を歩んでみようと思いました。月・水・金曜日の勤務という事でまだまだ慣れません、一日も早く可茂学園の一員になれるよう努力していきたいと思っております。まだまだ勉強、経験不足を感じる毎日ですが、出勤した際にはなるべく多くの利用者さんに関わり、その方々の日々を知り、より多くの情報を集め、より良い支援が出来る様、心がけていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

三ツ池ホームだより

ある日の外出



三ツ池ホームの休日の過ごし方の一つに、生活に必要な物を利用者自らが購入する為、商業施設に出かける時があります。誕生月の方がいるときは、事業所の誕生会の日に向けて、プレゼント選びに行くこともあります。今回は、利用者の希望により化粧品選びにドラッグストアに行きました。希望や肌質に合わせたクリーム、口紅等を美容部員さんと相談したうえで、化粧の方法をその場で丁寧に教えていただきました。

不審者侵入時対応研修について

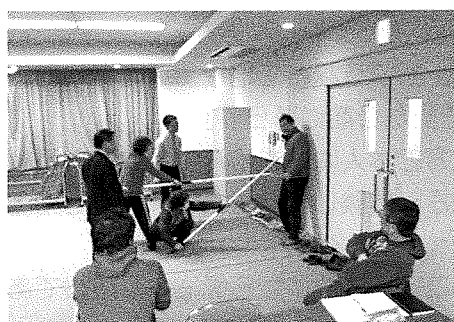
防災委員会

神奈川県が
い者施設において
多数の利用者が殺
傷された事件をふ
まえて、可茂学園
では、昨年11月に
不審者対応マニ
ュアルを策定しました。



不審者対応マニュアルが実際の現場で生かされるように、2月に岐阜県警の警察官の方を講師に招き不審者対応研修を実施しました。内容は、神奈川県の事件の検証と、サスマタを使用した実地訓練を1時間30分程、職員全員に研修をしました。

この他にも、災害時を想定したBCP（地震や大事故等の危機事案に備え、被害を最小限に抑え、必要な事業が継続出来るよう事前に定める計画のこと）マニュアル、土砂災害マニュアルなどを策定して、利用者さんの安全確保に職員全員で取り組んでいます。



平成28年度

補助事業完了報告



外観南西面



三ツ池第2ホーム完成

—— 地域生活を応援します ——

この度、公益財団法人JKA様（オートレースの収益を広く社会に還元する目的）の補助事業として「三ツ池第2ホーム」を開設することができました。公益財団法人JKA様をはじめ、この事業に携わって頂いた関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

既存の三ツ池ホームは女性専用ホームで、今度は男性用ホームを整備して欲しいという皆様のご要望によりやく応えることができました。事業開始にあたり一番の課題は、世話人や生活支援員の確保でした。男性用ホームということで同性支援の基本的な支援姿勢から男性生活支援員を配置すべく求人をしておりましたが、確保が困難ではじめて新聞に求人の折り込み広告を入れて対応いたしました。その結果幸いにも男性生活支援員の人材確保ができ、6月1日から事業を開始することができました。

グループホームは、障がいのある方が日常生活上の支援を受けながら地域で共同生活を行うことで、その人に合った自立を目指すことを目的としています。少人数での生活をする中で、その人らしく自由な自立した生活が可能となります。私たちは利用される方1人1人に合わせた個別支援を大切にしながら、幸せな人生を送るためのお手伝いをさせていただきたいと考えています。

現在入居されている4名の利用者の方の日中活動は、可茂学園本体に2名、カフェ＆ベーカリー「麦の丘」へ2名の方が通所しておられます。また、この三ツ池第2ホームは名鉄西可児駅まで徒歩10分ほどの立地で駅界隈は商店街となっており、地域生活するうえで利便性の良い場所です。余暇時間にはショッピングや外食、街ブラなどで地域生活を楽しむことができます。

「住み慣れた地域で当たり前暮らし」

これは利用される方ご本人はもちろんのこと、保護者やご家族の願いでもあります。今まで体験できなかったことをたくさん体験していただき、充実した生活を送ることで豊かな人生にしていきたいと思います。

今後ともご利用者、ご家族、地域から愛される施設であり続けるためにスタッフ一同、より一層の努力を重ね日々の業務に励んで参ります。



玄関プレート



居間・食堂



厨房

【施設の概要】

- ・施設の名称 三ツ池第2 ホーム
- ・施設規模 建物面積 181.86㎡
床面積 178.00㎡
- ・構造 木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建
(冷暖房設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備)
- ・施設の種別 共同生活援助事業所（グループホーム）利用定員5名

愛のともしび基金のご助成で 多目的車両を購入しました



この度岐阜県愛のともしび基金の平成28年度補助事業として可茂学園多目的車両を購入いたしました。

新車両は使用頻度も多く、利用者の送迎や通院、授産製品の運搬、行政等関連機関との連絡調整など多目的に使用しております。スライドドアのため乗り降りが容易で身体への負担が軽減されました。また、利用者、職員の安全性が確保され、快適で乗りやすい車に利用者も職員も大変喜んでおります。大切に使用させていただきます。

岐阜県愛のともしび基金のご助成に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成28年度 収支決算書

(単位：千円)

貸 借 対 照 表			
資 産 の 部		負 債 の 部	
	決 算 額		決 算 額
流 動 資 産	133,576	流 動 負 債	21,157
現 金 預 金	47,172	事 業 未 払 金	6,866
事 業 未 収 金	63,967	預 り 金	0
未 収 補 助 金	22,335	賞 与 引 当 金	14,291
貯 蔵 品	102		
固 定 資 産	1,039,393	固 定 負 債	32,630
基 本 財 産	369,142	設 備 資 金 借 入 金	0
建 物 (基 本)	992,131	退 職 給 付 引 当 金	32,630
減 価 償 却 累 計 額 △	-623,989		
定 期 預 金	1,000		
そ の 他 の 固 定 資 産	670,251	負 債 の 部 合 計	53,787
構 築 物	58,254	純 資 産 の 部	
車 輛 運 搬 具	25,779	基 本 金	126,762
器 具 及 び 備 品	48,714		
減 価 償 却 累 計 額 △	-95,450	国庫補助金等特別積立金	242,442
退 職 給 付 引 当 資 産	27,279	そ の 他 の 積 立 金	605,549
人 件 費 積 立 資 産	130,800		
修 繕 積 立 資 産	105,800	次期繰越活動増減差額	144,429
備 品 等 購 入 積 立 資 産	20,000	(うち当期活動増減差額)	57,374
移 行 時 特 別 積 立 資 産	0		
建 設 積 立 資 産	348,949		
長 期 前 払 費 用	126		
そ の 他 の 固 定 資 産	0	純 資 産 の 部 合 計	1,119,182
資 産 の 部 合 計	1,172,969	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	1,172,969

資 金 収 支 計 算 書				事 業 活 動 計 算 書			
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	370,561	サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	370,561
		生活保護事業収入	14,985			生活保護事業収益	14,985
		経常経費寄附金収入	405			経常経費寄附金収益	405
		受取利息配当金収入	18			サービス活動収益計	385,951
		その他の収入	3,678			人件費	242,304
	事業活動収入計	389,647	事業費		47,230		
	支出	人件費支出	240,523		事務費	29,136	
事業費支出		47,230	減価償却費		34,822		
事務費支出		29,127	国庫補助金等特別積立金取崩額		-23,244		
その他の支出		2,428	サービス活動費用計		330,248		
事業活動支出計		319,308	サービス活動増減差額		55,703		
事業活動資金収支差額		70,339	増減の部外	収益	受取利息配当金収益	18	
収入	施設整備等補助金収入	23,142			その他のサービス活動外収益	3,678	
	固定資産売却収入	60			サービス活動外収益計	3,696	
	施設整備等収入計	23,202			費用	その他のサービス活動外費用	2,428
支出	固定資産取得支出	63,518				サービス活動外費用計	2,428
	施設整備等支出計	63,518		サービス活動外増減差額	1,268		
施設整備等資金収支差額		-40,316		経常増減差額		56,971	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	34,964	特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	23,142
		その他の活動収入計	34,964			固定資産受贈額	0
	支出	積立資産支出	51,580			固定資産売却益	60
		その他の活動による支出	9			特別収益計	23,202
		その他の活動支出計	51,589		費用	固定資産売却損・処分損	0
	その他の活動資金収支差額		-16,625			国庫補助金等特別積立金取崩額(除却分)	-501
	予備費支出					国庫補助金等特別積立金積立額	23,142
当期資金収支差額合計		13,398	その他の特別損失			158	
前期末支払資金残高		113,312	特別増減差額		特別費用計	22,799	
当期末支払資金残高		126,710					

【お知らせ】

社会福祉法人「可茂会」可茂学園の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支決算書について希望される方は、閲覧することができます。お気軽に可茂学園事務室までお問い合わせ下さい。

なお、簡単な会計報告を表示しましたのでご覧ください。

(事務局)

可茂会役員・評議員・顧問名簿

【敬称略】

○理事 任期：平成29年6月23日～平成31年6月定時評議員会

・可児市 藤掛 馨 (医療法人馨仁会理事長)

・池田 博子 (前可茂学園施設長)

・安藤 千秋 (可茂学園副園長)

・藤掛 仁博 (社会福祉法人仁愛会理事長)

・日比野邦彦 (可茂学園施設長)

・長谷川伸二 (可茂学園サービス管理責任者)

○監事 任期：平成29年6月23日～平成31年6月定時評議員会

・八百津町 吉田 智視 (元しおなみ苑施設長)

・可児市 秋山 光起 (元中部中学校校長)

○評議員 任期：平成29年4月1日～平成33年定時評議員会

・可児市 奥村 香 (帷子地区民生児童委員)

・可児市 各務 要三 (瀬田地区民生児童委員)

・深貝 守 (身障協会可児支部長)

・高井 広吉 (可児市社会福祉協議会常務理事)

・古川 修 (可児市教育研究所 教育相談員)

・美濃加茂市 長瀬 邦夫 (可茂学園保護者会会長)

・川辺町 加藤 政博 (可茂会後援会会長)

○法人顧問

・可児市副市長 高木 伸二

・美濃加茂市副市長 海老 和允

・御嵩町副町長 寺本 公行

第三者委員

・小本喜久雄 老健花トピア副施設長

・橋本 辰典 しおなみ苑施設長

・伊藤 幸子 雑草の会 (知的障がい児者を持つ親の会) 会長

・吉田 智視 社会福祉法人「可茂会」 監事

・秋山 光起 社会福祉法人「可茂会」 監事

ご寄附ありがとうございました

平成28年度分 敬称略 順不同

【寄付金】

藤掛 馨 様
可茂学園保護者会 様
(株)三宅設計 様
可茂会後援会 様
美濃加茂市社会福祉協力会 様
KYB労働組合 様
土屋 伊都子 様
千賀 澄子 様
川合 昭宏 様
岐阜県共同募金会 (NHK歳末たすけあい義援金) 様

【寄付物品等】

高村 峰子 様	メロン、スイカ、りんご、みかん
美濃加茂市社会福祉協力会 様	菓子
(株)平成観光パーキング可児店 様	菓子
ボールウェブ 様	菓子
長谷川 紀子 様	せんべい、珈琲、もち米
秋山 光起 様	グリーンリーフ、サニーレタス、きゅうり、大根、ピーマン、ナス等 野菜各種
日本ゼネラルフード 様	カゴメ、野菜ジュース
佐伯総合建設(株) 様	日本酒、酢
渡辺 須磨子 様	アイスコーヒー
片桐電気保安管理事務所 様	珈琲ギフト
中部プロパン瓦斯商会 様	ジュース、お茶、タオル、みかん
柘植 和廣 様	菓子
河合 清子 様	水ようかん等、靴下、チョコレート
長瀬 邦夫 様	菓子、りんご
山田 好子 様	かぼちゃ、ピーマン、オクラ
桑畑 直喜 様	米、漬物、もち米
伊藤 正和 様	花鉢
可児市社会福祉協議会 様	さつまいも
長谷川 秀次 様	里芋
日比野 恭治 様	菓子
(株)ライン 様	菓子
日本ゼネラルフード(株) 様	菓子、ジュース
日比野 重夫 様	みかん
宮川 春子 様	もち米
(株)土屋R&C 様	ビール、菓子
小山寺檀家の皆様	もち米
小山寺女性部の皆様	ティッシュペーパー、トイレペーパー、タオル、洗剤
梅田 寛実 様	みかん
遠藤 八重子 様	ドリンク
前島 宗直 様	みかん
曾木 登美子 様	ジュース
道家 みち子 様	紅茶、珈琲
土屋 伊都子 様	みかん
伊藤 幸子 様	菓子
大洞工務店 様	はちみつセット
吉田整備(株) 様	みかん
ウイング美濃加茂店	菓子
西岡 薫 様	菓子

編集後記

開設二十六年、より良い可茂学園を実現する為、可茂学園は日々進化をしてきました。今から二十年前に新館増設以降、通所開設、麦の丘、三ツ池ホーム、更に三ツ池第二ホームが今年六月に開設されました。今後も地域、利用者皆様方のニーズにお応えする為、可茂学園は着実にその歩を進めてまいります。今後とも皆様方の御理解、御協力を宜しくお願い致します。

(小栗 意夫)





ヨシツヤ可児店で 啓発活動



障がい者週間（毎年12月3日から9日までの1週間）の啓発活動に参加してきました。可茂学園からは鍋敷やトイレットペーパー、ヘアアクセサリー、マフィンを配布してきました。



みんなのディスコ

7月18日可児市文化創造センターで行われた「みんなのディスコ」に行ってきました。

「みんなのディスコ」とは障がいのある方もそうでない方もダンスを通じて触れ合うことをテーマに企画されたものです。

まるでディスコ会場にいるような雰囲気の中、DJの曲に合わせてダンスをして盛り上がりました。学園からはダンスの好きな方が参加し、ショータイムにはEXILEの「Ki・mi・ni・mu・chu」をステージ披露しました。

